

第3回

発達障害のための コミュニケーション支援セミナー

セミナーでは、どこよりもわかりやすく発達障害におけるコミュニケーションの問題と支援の方法について考えます。年長者になってから支援を始めても遅くありません。

代替コミュニケーションが与える様々な可能性

- 赤ちゃんの癩癩が減り、育児ストレスが軽減する
- 発達障害の人の行動問題が減少する
- 多様な要求を伝えることができるようになる
- 様々な潜在能力を発揮する
- 言語や認知の発達を促す 他

日時 平成28年7月19日(火)
10:30～12:30(受付10:00～)

会場 門司ブリックホール
JR門司駅北口から徒歩3分
※裏面に地図があります。

講師 今本 繁
臨床心理士
教育学修士(筑波大学)
自閉症スペクトラム支援士EXPERT



定員 50名
参加費 500円

- 主催 ABC研究所
- 共催 北九州市自閉症協会
- 後援 北九州市教育委員会
北九州LD等発達障害親の会「すばる」
自閉症児者の未来を考える会

●講師プロフィール

大学在学時にボランティア活動で出会った友人の心の病をきっかけに臨床心理の道を目指す。筑波大学博士課程で応用行動分析(ABA)に基づいた自閉症支援を学ぶ。

九州の知的障がい者施設、国立精神病院勤務、ノースカロライナ大学TEACCH部留学、西南女学院大学勤務、2006年PECSの日本法人代表者を経て2015年6月からABC研究所代表として日本全国で活動中。

【お申込み方法】 FAX、Eメールにてお申し込みを承ります。FAXの方は、裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、裏面のFAX番号にお送りください。Eメールの方は、必要事項を明記の上、裏面の指定アドレスにお送りください。
※裏面をご覧ください